発行日：2019年1月25日

こむすい一座の紙芝居情報　ごまねこ　じゃーなる

GomaNeko Journal

2019 02月号

シッポと言語　其之十九　コフリシユギテツガク

迷亭君はコップ酒片手に嬉々としてしゃべっている。主人は相変わらず部屋の隅に転がって寝ている。寒月君と三平君も白黒真逆の顔のままチビリチビリと酒を飲んでいる。と、不意に三平君が口を開いた。

「迷亭先生はこの世に正義も悪も存在しないと考えておられるようだけれど、ボクはそうは思いませんね」

オヤッと迷亭君は少し手を止め、「さて、それはどういうことかな？」ニヤニヤと嬉しそうに聞き返した。

三平君は生真面目そうな顔つきで少し黙りこくった。そしてしばらくした後に、「正義や悪の概念を論ずる場合、ベンサムやミルの思想のほうが迷亭先生が基準とした個人主義より利にかなっているかも知れないとボクは考えたんです」と言った。

「なるほど。功利主義哲学というわけだね」

迷亭君はそう問い返しながら、相変わらず嬉しそうにニヤニヤしている。三平君はうなづき、「百人を生かすためには一人を犠牲にするもやむを得ない。善悪もそういった明確な基準で決めるべきかと存じます」とさらに気難しげな顔つきで言った。

「一殺多生かね？　へえ？　では聞くがね。その犠牲となる一人に自分がなったとしても君はそれを甘んじて受け入れることが出来るかい？」

val901-002『ベンサムとミル』　堂野こむすい

三平君は「うっ」と詰まった。「出来る」、と言いたいところだけれど、そう言った途端この先生、どんな無茶を言い出すか知れない。功利主義哲学は個人になかなか厳しいのである。

「まあいいさ。君の言うこともっともだ。功利主義哲学は正義と悪を考える上で、確かに重要な基準となりうる。しかし純粋な功利主義哲学は、現実に遂行するには少し難しいというのも事実じゃないかい？　極限状態に置かれたときそれは試される」

今より少し前の時代、命は地球より重い、なんてキャッチコピーが流行したことがあった。これは端的に言って一人の命を守るため多くが犠牲をはらう事もやむを得ないという功利主義とは真逆の思考に見える。一人の命を救うために地球を壊してもいいという考えは、はてさて成立するものかどうか。しかし現在、世間は実際そういう風に動いているように見えなくもない。自分の都合のために森林を伐採する。金銭のために自然を破壊しつづける。地球は砂漠化し、こんなことを続ければいずれすべてが滅びるというのに、なかなか止めることはできない。なるほど、今こそ功利主義哲学を見直すべき時代かも知れない。

「まあしかし、これも一種の功利主義哲学の帰着点とも見えなくもないかな。だってそうだろ？　多くを救うためには一を殺すもやむを得ない。功利主義とは基本的に多数決によって成り立つ思想なわけじゃないか？　ということは命よりお金が大事だという価値基準が世論上で大多数となれば、金銭こそが正義となり命はどんどん軽くなる。命より金銭が重いと考える人たちによって、命が地球より重くなるってことも当然おこるべき現象なんだね。命より金銭を重いとする人が地球より命を重くするなんて。あはは、なんて皮肉で愉快な話じゃないかい」

酔っ払いの迷亭君はカンラカンラと笑った。

昔、国を守るために戦場に散った若者たちがいた。町を水没から救うため堤防の亀裂を手でふさいで死んだ少年がいた。そんな自己犠牲的な行為は今ではすっかりお笑いぐさだ。自分を殺してまで皆を生かそうとするなんて愚の骨頂ではないか。そう考えることが主流となった。功利主義哲学は変形し、独善的な個人主義が多数決の雄となった時、お互いがお互いを支え合い助け合って成立するという牧歌的なコミュニティは崩壊し、お互いがお互いを狼であると認識し、奪い合い殺し合う殺伐とした世界が始まる。そしてトマスホッブズの言うように、国家という怪物によって狼たちは統治されなければならないのかも知れない。行き過ぎた自由の帰着点はより重い国家とがんじがらめの自由。

「つまんないねえ」

寒月君はポツリと言って窓の外を見た。我輩は柿の枝から彼を見返し「そうだろう？　だから猫のほうがいいんじゃないか。悔しかったら君もシッポを生やしてみろよ」とシッポを振って返事してやった。

つづく

KOJIKI EMAKI

古事記絵巻

古事記の紙芝居、現在は『根国の物語』です

未来は古代で　古代は未来

現存する日本で最も古い歴史と神話の書物、古事記。そこには自然や神様たちと共に生きた、太古の人々のびのびとした暮らしがあります。恋をしたり歌ったり、神様も動物も人間も大忙し。島から島へと飛び回り独自の文化をつくっていった古代日本人の生活をどうぞ一緒にお楽しみください。

堂野こむすい

― 2月のお知らせ ―

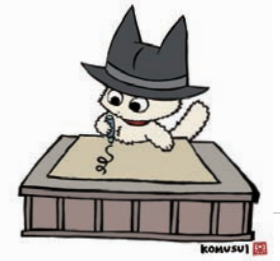
『大燈国師物語』（だいとうこくし）

一休さんもビックリ！
播磨の偉人、大燈国師の紙芝居

寶林寺の和尚さんと一緒に
あちこちで公演中！

詳しくは寶林寺へ
0791-67-0963

2月24日（第四日曜日）8時～13時
亀山御坊楽市楽座（姫路）
小物や自然塩の販売と紙芝居



たつの市新宮町段之上374
ギャラリー夢酔庵
☎ 0791-75-0407
666@musui.com

こむすい　検索
https://komusui.com